

一般社団法人未踏科学技術協会超伝導科学技術研究会

第79回ワークショップ
「3.11 震災を乗り越えて」

2011年3月11日の東日本大震災。これは日本に大きなダメージを与えただけでなく、超伝導技術・低温技術の関係者に与えた影響も大きかったのではないのでしょうか。ただ、ここに立ち止まってばかり居るだけではなく、この震災の経験を生かし大きく前に進む必要があります。そこで、本ワークショップでは震災で起きたこと（事故）および、その事故からの復旧されたあるいは復旧途中の超伝導システムに焦点を当て、そこから抽出される課題を検証議論し、今後の対策に役立てることを目的としてワークショップを開催致します。超伝導・低温技術に携わられている皆様だけでなく、これらにご興味をお持ちの方々を含めて多数の参加をお待ちしております。

主催：一般社団法人 未踏科学技術協会 超伝導科学技術研究会

協賛：公益社団法人 低温工学・超電導学会(予定)

日時：平成24年7月19日(木) 13:30-17:45

場所：全日通霞が関ビルディング 大会議室 B <http://www.neu.or.jp/html/map/>

〒100-0013 千代田区霞が関 3-3-3 TEL 03-3581-2261

定員：120名

参加費：■超伝導科学技術研究会員：参加費無料、資料代2,000円

■協賛学会：参加費4,000円、資料代2,000円

■一般：5,000円、資料代2,000円

■学生：参加費無料、資料代2,000円

プログラム(案)：

13:30-13:35 開会の挨拶 下山 淳一(東京大学)

13:35-14:15 NMRの被災、復旧の現状、今後の課題 清水 禎(物質・材料研究機構)

14:15-14:55 J-PARCでの被災、復旧の現状、今後の課題
榎田 康博(高エネルギー加速器研究機構)

14:55-15:35 MRIの被災状況とそこから見えてきた課題
野口 隆志(物質・材料研究機構)

15:35-15:50 休憩

15:50-16:20 超伝導ケーブルシステムと震災 山口作太郎(中部大学)

16:20-16:50 免震・制震対策の実情 西 敏夫(東京工業大学)

16:50-17:40 パネルディスカッション：極低温機器に要求される安全対策

17:40-17:45 閉会の挨拶 木村 茂行(未踏科学技術協会)

参加申込はこちらから：<http://www.sntt.or.jp/~fsst/20120719.html>

問い合わせ先：一般社団法人 未踏科学技術協会 超伝導科学技術研究会 担当 大貫

Phone: 03-3503-4681 Fax: 03-3597-0535 e-mail: fsst@sntt.or.jp